

群馬県スポーツ施設の 設置及び管理に関する基本計画

(令和3年度～令和7年度)

令和3年3月

群馬県

第1章 計画策定の考え方

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	1
3	計画の期間	1
4	計画の対象	2
5	計画による効果	2

第2章 県内スポーツ環境の現状と課題

1	本県のスポーツを取り巻く環境	3
2	本県スポーツ施設の現状	5
3	本県スポーツ施設の課題	9

第3章 スポーツ施設の設置及び管理の基本方針

1	基本方針	11
2	競技別拠点スポーツ施設の選定	11
3	施設整備の考え方	15

<関連資料>

1	設置者別の競技別拠点スポーツ施設一覧	17
2	競技別拠点スポーツ施設の選定理由及び大会開催実績	20

第1章 計画策定の考え方

1 計画策定の趣旨

本県は、昭和53年に「スポーツ県群馬」宣言を行い、県を挙げて県民のスポーツ活動を推進するため、昭和54年から6次にわたるスポーツ振興の計画を策定し、各種施策を実施してきました。

その後、平成25年にスポーツの振興に関する基本理念やスポーツ環境の整備等に関し基本となる事項を定めた「群馬県スポーツ振興条例」が制定、施行され、翌年3月に同条例第8条に基づき、スポーツ施設の設置及び管理を適切に進めていくための基本方針である「群馬県スポーツ施設の設置及び管理に関する基本計画（平成26年度～平成32年度）」を策定しました。

平成28年からは、「県民が生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境を整備し、明るく豊かな活力ある『スポーツ県群馬』を実現する」ことを目標とした「群馬県スポーツ推進計画（平成28年度～令和2年度）」に基づき、スポーツ機会の充実、競技力向上、生涯スポーツ振興などに取り組んできました。

この間、昭和58年の「あかぎ国体」を契機に整備された施設の老朽化や競技施設基準の改正、利用者ニーズの多様化など、スポーツ施設を取り巻く環境も変化してきました。

また、本県で二巡目となる第83回国民スポーツ大会及び第28回全国障害者スポーツ大会が令和11年度に開催される予定であり、今後、準備を本格化させるとともに、大会を契機に更なるスポーツ振興を進めていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、将来にわたって県民のスポーツ活動の受け皿となるスポーツ施設について、引き続き適切に管理していくため、現行計画の考え方を踏まえつつ、新たに「群馬県スポーツ施設の設置及び管理に関する基本計画（令和3年度～令和7年度）」を策定するものです。

2 計画の位置付け

この計画は、群馬県スポーツ振興条例第8条に規定する「スポーツ施設の設置及び管理に関する基本計画」であるとともに、本県のスポーツ分野の最上位計画である「群馬県スポーツ推進計画」の個別基本計画として位置付けます。

3 計画の期間

計画期間は、スポーツ分野の最上位計画である「群馬県スポーツ推進計画」に合わせ、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

なお、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

4 計画の対象

この計画では以下の施設を対象とします。

- ・地域住民の日常的なスポーツ活動の場としての機能に加え、地域や市町村の行政区域を越えたスポーツ大会等の場としての機能を重視した施設
- ・県民に夢と感動を与えられるような全国的なスポーツ大会（国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会など）や交流の場として機能を重視した施設

5 計画による効果

この計画により、次のような効果が期待されます。

（1）良好な競技環境の提供

大規模大会が開催可能な機能を有する施設の整備によって、本県アスリートや来県する競技関係者等に良好な競技環境を提供するとともに、スポーツによる交流人口の増加につながります。

（2）競技力の向上

スポーツ施設の充実により、人材（選手、指導者）の育成や競技力の向上が期待されます。また、様々な競技種目を体験する機会が増え、将来トップアスリートとして活躍できるジュニア競技者の確保や育成が図られます。

（3）スポーツを通じた地域の活性化

スポーツ施設の充実により、スポーツを「する」「みる」「支える」人口が拡大し、人と人、地域と地域との絆づくりが広がり、スポーツを通じた地域の活性化が進みます。

第2章 県内スポーツ環境の現状と課題

1 本県のスポーツを取り巻く環境

(1) 人口減少、少子高齢化社会の進展

本県の総人口は、平成17年以降減少傾向に転じ、平成27年には1,973,115人まで減少しています。

年齢別には、14歳までの人口は、平成12年の306,895人(15.2%)から平成27年は250,884人(12.8%)に減少し、65歳以上の人口は、367,117人(18.2%)から540,026人(27.6%)に急増しています。

この傾向は今後も続くことが推測され、運動やスポーツを通して、心身ともにたくましい子どもの育成や高齢者の健康・体力の保持増進を図り、活力ある社会を維持・継続していくことが重要になります。

(表1) 群馬県の年齢3区分別人口及び割合の推移

(単位：人)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
群馬県総人口	2,024,852	2,023,996	2,008,068	1,973,115
0～14歳	306,895	291,981	275,225	250,884
	15.2%	14.4%	13.8%	12.8%
15～64歳	1,345,442	1,314,167	1,251,608	1,165,780
	66.6%	65.0%	62.7%	59.6%
65歳～	367,117	416,876	470,520	540,026
	18.2%	20.6%	23.6%	27.6%

(総務省統計局「国勢調査」結果)

(2) ライフスタイルの多様化と生涯にわたる健康の必要性

県民の生活に対する意識や年齢、障害の有無等により、ライフスタイルも多様化しており、それぞれに応じた運動やスポーツに親しめる環境づくりが求められています。

運動やスポーツは、体力の向上、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防にもなり、生涯にわたる健康の保持増進には欠かせないものです。

(3) 運動・スポーツの多様化

県民のスポーツへの関わりが、単に「する」スポーツだけではなく、「みる」スポーツやチーム等をサポートする「ささえる」スポーツまで多様化しており、こうした県民の様々なスポーツへのニーズに適切に応える環境整備が必要です。

※参考(競技人口の状況)

(公財)群馬県スポーツ協会加盟総競技人口は、令和元年度約12万8千人で、4年前(平成27年度)に比べ約1万2千人減少していますが、各競技団体が小学生を対象とした初心者教室を開催する等、スポーツ人口の裾野を広げるよう努めています。

(表2) 群馬県スポーツ協会加盟団体登録人数一覧

	競技団体名	平成24年度	平成27年度	平成30年度	令和元年度
1	県スケート連盟	253	291	302	233
2	県アイスホッケー連盟	168	171	166	140
3	県スキー連盟	514	514	448	459
4	(一財)群馬陸上競技協会	6,564	6,228	6,614	6,666
5	県水泳連盟	1,839	1,996	1,931	1,897
6	(公社)県サッカー協会	16,453	15,773	15,201	14,120
7	県テニス協会	4,902	5,015	4,524	4,217
8	県ボート協会	21	24	26	25
9	県ホッケー協会	143	177	128	132
10	県ボクシング連盟	122	139	147	147
11	県バレーボール協会	8,608	8,517	7,595	7,433
12	県体操協会	881	575	361	393
13	県バスケットボール協会	10,288	11,199	10,828	11,620
14	県レスリング協会	204	225	310	327
15	県セーリング連盟	14	17	12	12
16	県ウエイトリフティング協会	57	66	37	35
17	県ハンドボール協会	1,037	1,052	980	880
18	県自転車競技連盟	74	142	137	155
19	県ソフトテニス連盟	10,378	10,110	8,674	8,022
20	県卓球協会	6,587	6,734	7,086	7,319
21	県野球連盟	33,400	29,100	29,065	28,034
22	県相撲連盟	130	153	145	128
23	県馬術連盟	189	178	187	178
24	県フェンシング協会	191	145	149	142
25	県柔道連盟	3,011	3,651	2,522	3,050
26	県ソフトボール協会	3,840	7,022	6,352	6,456
27	県バドミントン協会	5,121	5,683	6,207	6,267
28	県弓道連盟(全日弓連登録)	2,039	2,173	828	828
29	県ライフル射撃協会	74	78	83	72
30	県剣道連盟	6,889	5,914	5,023	4,934
31	県ラグビーフットボール協会	2,192	2,162	1,948	1,971
32	県山岳連盟	1,466	1,540	1,511	384
33	県カヌー協会	79	54	69	45
34	県アーチェリー協会	248	294	268	280
35	県空手道連盟	3,121	3,355	2,148	2,664
36	県銃剣道連盟	210	213	214	119
37	県クレール射撃協会	48	49	52	54
38	県なぎなた連盟	161	97	90	81

39	県ボウリング連盟	373	274	252	241
40	県ゴルフ連盟	1,371	1,367	1,372	1,360
41	県社会人野球連盟	239	217	142	159
42	県ゲートボール協会	2,539	1,575	1,138	1,084
43	NPO県綱引き連盟	193	162	162	168
44	県少林寺拳法連盟	1,060	1,090	995	759
45	県トライアスロン協会	266	334	296	250
46	県武術太極拳連盟	3,306	3,336	3,337	3,298
47	県エアロビック連盟	55	74	66	64
48	県スポーツチャンバラ協会	144	117	114	97
49	県合気道連盟		362	919	919
50	県ダンススポーツ連盟		334	304	289
	合 計	141,062	140,068	131,465	128,607

参考	県スポーツ少年団員数	22,171	19,776	19,068	18,352
----	------------	--------	--------	--------	--------

2 本県スポーツ施設の現状

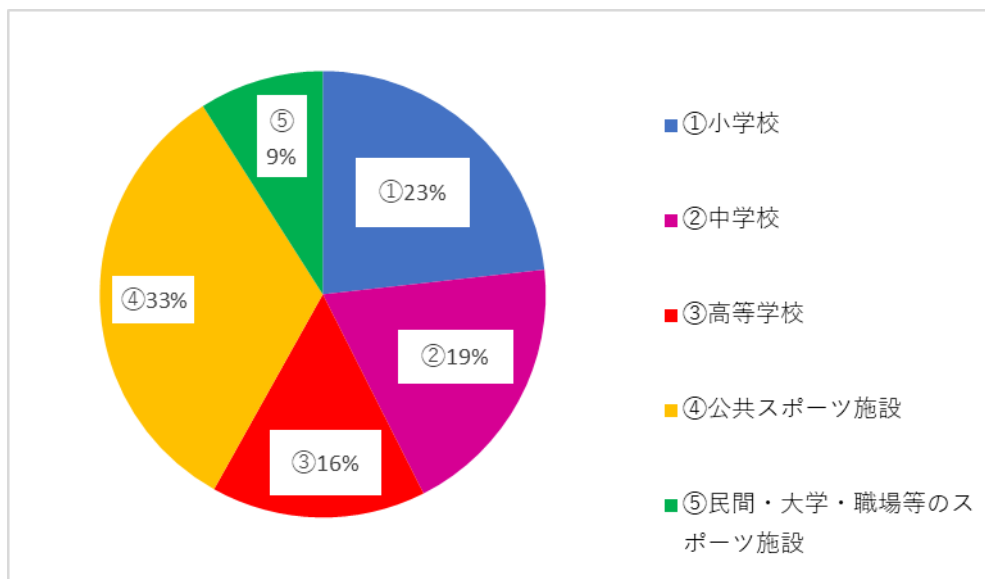
(1) スポーツ施設の設置状況

①県内の状況

県内の体育・スポーツ施設は、多目的運動広場や体育館など総数で4,041施設です。この内、約58%（2,348施設）が、学校体育施設（小学校・中学校・高等学校）で、約33%（1,328施設）が県有・市町村有のスポーツ施設（以下、「公共スポーツ施設」という。）です。これらを合わせるとその割合は、約91%となります。

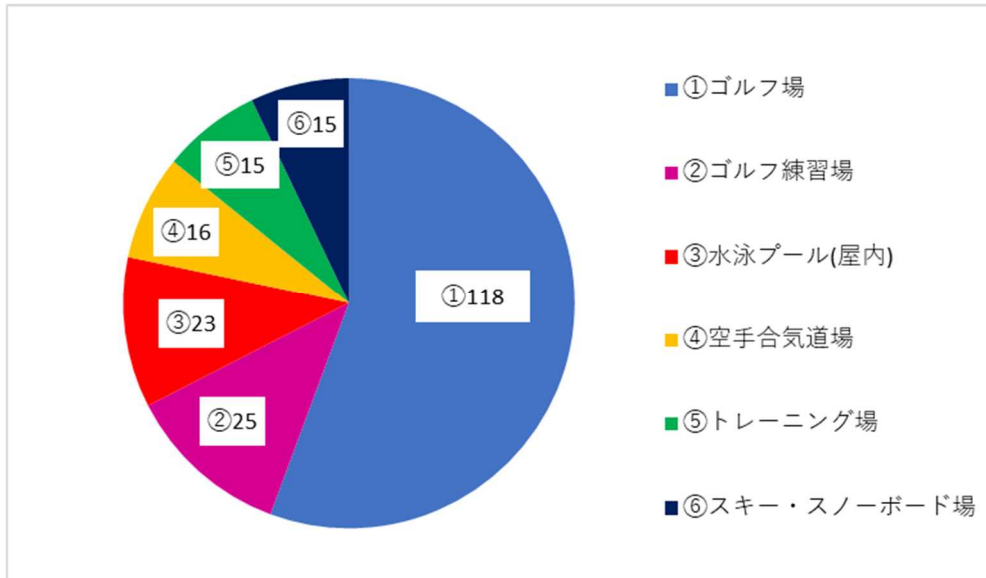
また、民間の主な運動・スポーツ施設には、本県の豊かな自然環境を活用した、スキー・スノーボード場、ゴルフ場のほか、屋内施設として、水泳プール、トレーニング場、空手合気道場があり、その数は289施設あります。

(表3) 体育・スポーツ施設数の割合



(文部科学省 「平成30年度体育・スポーツ施設現況調査」)

民間の主な運動スポーツ施設



(文部科学省 「平成 30 年度体育・スポーツ施設現況調査」)

②他県との比較

本県の公共スポーツ施設は、関東 1 都 6 県の中で、人口 10 万人当たりの設置数では、高い水準となっています。

(表 4-1) 関東 1 都 6 県の人口 (令和元年 10 月 1 日現在)

(単位：千人)

	群馬県	茨城県	栃木県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
人口	1,942	2,860	1,934	7,350	6,259	13,921	9,198
順位	6位	5位	7位	3位	4位	1位	2位

(表 4-2) 10 万人当たりの施設割合

県名	陸上競技場		
	施設数	施設割合	順位
群馬県	33	1.69	1位
栃木県	29	1.49	2位
茨城県	21	0.73	3位
千葉県	31	0.50	4位
埼玉県	36	0.49	5位
東京都	45	0.33	6位
神奈川県	27	0.29	7位

県名	柔道場・剣道場・柔剣道場		
	施設数	施設割合	順位
群馬県	66	3.38	1位
茨城県	76	2.64	2位
栃木県	50	2.57	3位
埼玉県	110	1.50	4位
千葉県	86	1.37	5位
東京都	119	0.86	6位
神奈川県	53	0.58	7位

県名	野球場・ソフトボール場		
	施設数	施設割合	順位
栃木県	236	12.13	1位
群馬県	201	10.30	2位
茨城県	261	9.10	3位
埼玉県	386	5.27	4位
千葉県	293	4.68	5位
東京都	594	4.30	6位
神奈川県	173	1.89	7位

県名	庭球場（屋内外）		
	施設数	施設割合	順位
群馬県	125	6.40	1位
茨城県	161	5.60	2位
栃木県	99	5.09	3位
千葉県	247	3.95	4位
埼玉県	218	2.97	5位
東京都	259	1.87	6位
神奈川県	147	1.60	7位

県名	球技場（サッカー・ラグビー-場等） 多目的広場		
	施設数	施設割合	順位
群馬県	330	16.91	1位
栃木県	178	9.15	2位
茨城県	255	8.86	3位
埼玉県	335	4.75	4位
千葉県	281	4.49	5位
神奈川県	291	3.17	6位
東京都	263	1.90	7位

県名	卓球場		
	施設数	施設割合	順位
群馬県	8	0.41	1位
栃木県	7	0.36	2位
埼玉県	20	0.27	3位
千葉県	11	0.18	4位
茨城県	4	0.14	5位
東京都	17	0.12	6位
神奈川県	5	0.05	7位

県名	水泳プール（屋内外）		
	施設数	施設割合	順位
栃木県	70	3.60	1位
群馬県	68	3.48	2位
茨城県	81	2.82	3位
千葉県	110	1.76	4位
神奈川県	159	1.73	5位
東京都	197	1.43	6位
埼玉県	71	0.97	7位

県名	弓道場		
	施設数	施設割合	順位
群馬県	42	2.15	1位
栃木県	31	1.59	2位
茨城県	24	0.83	3位
千葉県	44	0.70	4位
埼玉県	49	0.67	5位
東京都	52	0.38	6位
神奈川県	25	0.27	7位

県名	体育館		
	施設数	施設割合	順位
栃木県	166	8.53	1位
群馬県	156	7.99	2位
茨城県	172	5.98	3位
埼玉県	269	3.67	4位
千葉県	201	3.21	5位
神奈川県	262	2.86	6位
東京都	294	2.13	7位

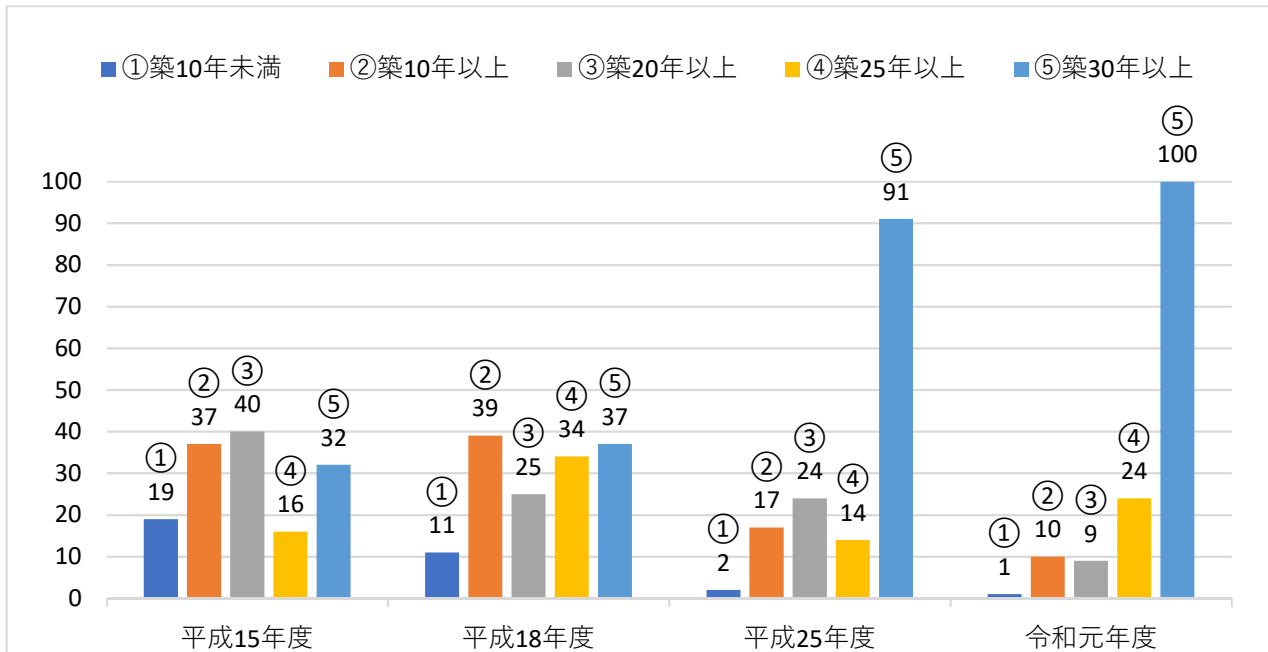
県名	トレーニング場		
	施設数	施設割合	順位
群馬県	34	1.74	1位
栃木県	32	1.64	2位
茨城県	47	1.63	3位
千葉県	61	0.98	4位
埼玉県	69	0.94	5位
東京都	110	0.80	6位
神奈川県	63	0.69	7位

（文部科学省 「平成30年度体育・スポーツ施設現況調査」）

(2) 主なスポーツ施設の築年数等の状況

県と市町村では、運動やスポーツ活動の基盤となる公共スポーツ施設を多数設置しています。それらの施設は昭和 58 年開催のあかぎ国体に向けて整備された施設が多く、必要に応じた改修等を行っています。

(表 5) 主な公共スポーツ施設の築後経過年数



(群馬県「ぐんまスポーツプラン2011」を時点修正)

(3) 主な大規模大会の開催状況

本県で開催された大規模大会は、昭和 58 年のあかぎ国体、平成 8 年の全国スポーツ・レクリエーション祭、平成 13 年、平成 22 年及び平成 29 年の国体関東ブロック大会などがあり、県内各地の県有、市町村有等施設を会場として、競技別あるいは予選、決勝別に試合を行ってきました。

※令和 2 年度は全国高等学校総合体育大会北関東総体の開会式等が県内で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

※競技別に見た大会開催施設の状況は、関連資料—2 を参照。

(4) 県有スポーツ施設のバリアフリー化等の状況

スポーツ施設のトイレの洋式化やバリアフリー化は、多くの人が利用するスポーツ施設においては、誰もが安心して快適に利用できるように非常に重要です。

バリアフリー化等の状況については、「人にやさしい福祉のまちづくり条例」やその施行規則により整備基準が定められており、そのうちスポーツ施設に関係の深い項目の基準を満たす割合は、表 6 のとおりとなっています。

(表6) 県有スポーツ施設のバリアフリー化等の状況

区分 基準を 満たす割合	利用者出入 り口の幅	通路の幅	車椅子使用 者の駐車場 台数	2階以上あ る施設のエ レベーター等 の設置	転落防止等 の点状プロ ック敷設	トイレの洋 式化	多目的トイ レの設置
平成25年度	81%	64%	44%	40%	35%	47%	40%
令和元年度	89%	64%	56%	40%	40%	64%	52%

(平成25年度及び令和元年度スポーツ振興課調べ)

3 本県スポーツ施設の課題

(1) 老朽化した施設への対応

県内の主な公共スポーツ施設については、昭和58年開催の「あかぎ国体」に向けて整備された施設がほとんどです。

安全で良好なスポーツ活動の場を確保するため、築後年数が経過したスポーツ施設については、計画的に維持管理を行う必要があります。

また、機能が重複する施設がある場合については、集約を検討するなど施設総量の最適化を進めていく必要があります。

(2) 大規模大会の開催等への対応

本県では、令和11年に、国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会が開催される予定です。

こうした大会の開催に際して必要となる競技施設基準への対応については、概ね済みましたが、安全かつ円滑な大会運営に必要な改修やバリアフリー化について、今後も効率的に進めていく必要があります。

(3) 多様化する県民ニーズへの対応

スポーツ施設は、健康づくりや地域スポーツ活動といった身近なものから、競技スポーツまで様々に利用されるとともに、交流の場や憩いの場としての役割もあります。

こうした、多様化する県民ニーズに対応するため、誰もが利用しやすく、安心・安全、快適にスポーツ活動を行える環境をソフト面を含め整えていく必要があります。

(4) 県と市町村との連携

大規模大会の開催に当たっては、県内のスポーツ施設が持つ機能に着目し、スポーツ施設の設置者である県と市町村とが連携しながら、既存スポーツ施設を有効活用していく必要があります。

(5) 民間スポーツ施設の活用

民間スポーツ施設には、山岳競技のボルダリングなど専門性の高いものや、ボウリングやゴルフなどの身近なスポーツで専用施設が必要なものなど、その種類は多岐にわたっています。

これら民間スポーツ施設は、国民スポーツ大会等の競技会場として活用されるものなどもあり、公共スポーツ施設と相互に補完し合っており、引き続き、県民のスポーツ活動等を促進していく上で活用・連携することが不可欠です。

(6) バリアフリー化等の推進

高齢者や障がい者をはじめ、誰もがスポーツに親しめる環境を整備するため、既存スポーツ施設の改修等の際には、「人にやさしい福祉のまちづくり条例」の基準に合うよう、施設を所管する関係部局と連携しながら、スポーツ施設のバリアフリー化を推進する必要があります。

(7) 財源の確保

スポーツ施設の整備を計画的に進めていくためには、財源の確保が最も重要となることから、独立行政法人日本スポーツ振興センターの「スポーツ振興くじ助成金」や国の補助事業を積極的に活用していく必要があります。

第3章 スポーツ施設の設置及び管理の基本方針

本県では、「群馬県スポーツ推進計画（令和3年度～令和7年度）」に基づき、「県民誰もがスポーツによって、自己実現を図り、健康で活力ある群馬県を創生する」を基本理念として、スポーツ振興に取り組んでいきます。

第2章で見てきた県内スポーツ環境の現状と課題を踏まえて、県内スポーツ施設の整備について、次の方針を定め、今後の整備を進めていくものとします。

1 基本方針

(1) 競技別拠点スポーツ施設の選定・整備

大規模大会の受け皿となる県有スポーツ施設や、各競技団体の主要な活動拠点となる施設を「競技別拠点スポーツ施設」として位置づけるとともに、位置づけられた施設については、市町村とも綿密に連携しながら無駄なく効率的に整備します。

(2) 既存スポーツ施設の有効活用

既存スポーツ施設の有効活用を推進します。

また、群馬県県有施設長寿命化指針に留意しつつ、スポーツ施設の長寿命化や機能改善を図ります。

(3) 財政状況を踏まえた計画的な整備

施設整備に当たっては、本県の財政状況を踏まえ、財政の健全化にも留意しつつ、計画的に行っていきます。

2 競技別拠点スポーツ施設の選定

(1) 選定

県内の公共スポーツ施設は、県民の日頃のスポーツ活動の場として、また、様々なスポーツ大会の会場として活用されていますが、それらを良好に設置・管理していくのは、設置者の責務です。

その中で、国民スポーツ大会等の大規模大会を本県で開催する際には、県有スポーツ施設のみでなく、市町村有スポーツ施設等の活用も必要になります。

このため、大規模大会の受け皿となる県有スポーツ施設や、各競技団体の主要な活動拠点となる施設について、市町村や競技団体の意見を聞きながら「競技別拠点スポーツ施設」として選定することにより、市町村と共通認識を持って無駄なく効率的に整備をしていきます。

(2) 競技別拠点スポーツ施設

スポーツ施設の機能や過去の大規模大会の開催実績、さらに市町村や競技団体の意向を踏まえ、次表7のとおり、県有施設16施設、市町村有等施設39施設、民間施設6施設の計61施設を競技別拠点スポーツ施設とします。

今後は、当該施設の中から、全国的なスポーツ大会の主会場となるものについて、計画的・重点的な整備を検討します。

なお、民間施設については、整備対象から除きます。

＜表7＞競技別拠点スポーツ施設一覧

NO	競技名	区分	競技別拠点スポーツ施設名
1	スケート	県有 市有	総合スポーツセンター伊香保リンク（スピード、ショートトラック） 総合スポーツセンターぐんまアイスアリーナ（フィギュア、ショートトラック） 桐生スケートセンター（ショートトラック）
2	アイスホッケー	県有 民間	総合スポーツセンター伊香保リンク ニューサンピアアイスアリーナ
3	スキー	村有 民間	尾瀬ほたか高原スポーツパーククロスカントリーコース、 片品シャンツェ（ジャンプ） 尾瀬岩鞍アルペンコース
4	陸上競技	県有	敷島公園陸上競技場、ふれあいスポーツプラザ
5	水泳	県有 市有	敷島公園水泳場、ゆうあいピック記念温水プール ふれあいスポーツプラザ 高崎市浜川プール
6	サッカー	県有 市有	敷島公園サッカー・ラグビー場、敷島公園陸上競技場 前橋総合運動公園陸上競技場 前橋市下増田運動場 伊勢崎あずまサッカースタジアム 太田市運動公園サッカー・ラグビー場
7	テニス	県有 市有	総合スポーツセンターテニスコート 前橋総合運動公園テニスコート 清水善造メモリアルテニスコート
8	ソフトテニス	県有 市有	総合スポーツセンターテニスコート 高崎市上並榎庭球場
9	ボート	その他	館林市城沼
10	ホッケー	町有	みなかみ町月夜野緑地施設内運動広場
11	ボクシング	県有 市有	総合スポーツセンターサブアリーナ 安中市スポーツセンター総合体育館
12	バレーボール	県有 市有	総合スポーツセンターぐんまアリーナ・サブアリーナ 伊勢崎市民体育館・第二市民体育館

NO	競技名	区分	競技別拠点スポーツ施設名
13	体操	県有 市有 〃	総合スポーツセンターぐんまアリーナ 前橋市民体育館 高崎アリーナ
14	バスケットボール	県有 市有 〃	総合スポーツセンターぐんまアリーナ 高崎市浜川体育館、桐生市民体育館 太田市運動公園市民体育館
15	レスリング	市有	館林市城沼総合体育館
16	セーリング	その他	渡良瀬遊水地
17	ウエイトリフティング	県有 市有	総合スポーツセンターぐんま武道館 前橋市民体育館
18	ハンドボール	市有	富岡市北部運動公園市民体育館
19	自転車	市民 有間	グリーンドーム前橋（トラック） 群馬サイクルスポーツセンター（ロード）
20	卓球	県有 〃 市有	総合スポーツセンターぐんまアリーナ ふれあいスポーツプラザ 前橋市民体育館、高崎市浜川体育館
21	野球	県有 市有 〃 〃	敷島公園野球場 前橋市総合運動公園市民球場、高崎市城南野球場 桐生球場、太田市運動公園野球場、伊勢崎市野球場 藤岡市民球場
22	相撲	市有	桐生相撲道場
23	馬術	県有	群馬県馬事公苑
24	フェンシング	市有	沼田市民体育館
25	柔道	県有 市有	総合スポーツセンターぐんま武道館 太田市運動公園武道館
26	ソフトボール	市有 〃	高崎市ソフトボール場 伊勢崎市ソフトボール場
27	バドミントン	県有 市有	総合スポーツセンターぐんまアリーナ 太田市運動公園市民体育館、伊勢崎市民体育館
28	弓道	県有	総合スポーツセンターぐんま武道館弓道場
29	ライフル射撃	県有	群馬県ライフル射撃場
30	剣道	県有	総合スポーツセンターぐんま武道館
31	ラグビー	県有 市有	敷島公園サッカー・ラグビー場 高崎市浜川競技場、太田市運動公園陸上競技場
32	山岳	県有 市民 有間	総合スポーツセンターサブアリーナ クライミングジム・ウォールストリート

NO	競技名	区分	競技別拠点スポーツ施設名
33	カヌー	その他 〃	渡良瀬遊水地（スプリント） みなかみ町矢瀬親水公園上流（スラローム、ワイルドウォーター）
34	アーチェリー	県 有 〃	総合スポーツセンターぐんまアーチェリー場 ふれあいスポーツプラザ
35	空手道	県 有	総合スポーツセンターぐんま武道館
36	銃剣道	町 有	玉村町社会体育館
37	クレール射撃	県 有 民 間	群馬県クレール射撃場 群馬ジャイアント射撃場
38	なぎなた	県 有	総合スポーツセンターぐんま武道館
39	ボウリング	民 間	パークレーン高崎
40	ゴルフ	—	主要な活動拠点が特定できないため、選定しない。

3 施設整備の考え方

(1) 県有施設と市町村有施設の役割分担を踏まえた整備の推進

これまで、県内のスポーツ施設は、主に全県的なスポーツ施設を県が、また、地域でのスポーツ施設は市町村が整備してきました。

しかし、大規模大会においては、県有施設のみでは大会の実施が困難なことから、市町村有施設との役割分担を踏まえながら、連携して整備を進めます。

(2) 県有競技別拠点スポーツ施設への対応

①新設及び改修の考え方

県有競技別拠点スポーツ施設については、総合スポーツセンターや敷島公園内に整備されており、全国的なスポーツ大会の開催が可能であるため、既存施設の有効利用を基本とし、原則として新設は行わないこととします。

ただし、競技別拠点スポーツ施設がない場合などには、以下の観点により対応を検討します。

- ア 全国的なスポーツ大会の開催に必要な施設かどうか。
- イ 当該競技の拠点となる施設かどうか。
- ウ 将来にわたって県民のスポーツ活動の受け皿となる施設かどうか。

また、改修にあたっては、以下の観点により対応を検討します。

- ア 予定されている全国的なスポーツ大会の開催に必要な改修（競技施設基準への対応等）かどうか。
- イ 施設の耐震性能や劣化状態はどうか。

②中長期的視点に立った計画的な整備の推進

県有競技別拠点スポーツ施設は、築後年数の経過した施設があるなど、施設毎に様々な課題を抱えています。

また、本県では今後国民スポーツ大会の開催が予定されています。

こうした課題への対応や今後予定されている大規模大会の開催を踏まえ、短期集中的に整備を進めることは困難なため、中長期的視点に立った計画的な整備を進めます。

なお、整備にあたっては、バリアフリー化等の推進などに十分配慮します。

③効率的な整備の推進

群馬県県有施設長寿命化指針に留意しつつ、築後年数の経過した施設については「悪くなってから補修する」という対症療法的な維持管理から、「悪くなる前に補修する」という予防保全型の維持管理へと転換を図り、長期的な活用（長寿命化）と生涯に要する費用の縮減、財政負担の平準化を実現するアセットマネジメント^{*1}の考え方を踏まえながら、効率的な維持管理に努めます。

また、新設や大規模改修の際は、P F I ^{*2}手法の有効性を確認した上で、その活用を検討します。

（3）市町村有競技別拠点スポーツ施設への対応

設置者による適正な整備を基本としつつ、全国的なスポーツ大会の主会場となることを前提とし、将来にわたって当該競技の拠点となると認められる施設については、県として一定の支援を検討します。

*1 施設、設備を資産として捉え、その損傷・劣化などを予測し、適切な時期に補修等を行い、資産の長寿命化を図ることで、効果的・合理的な維持管理を行うことをいいます。

*2 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

<関連資料－１> 設置者別の競技別拠点スポーツ施設一覧

1 県有施設 (16 施設)

NO	施設名	所在市町村	該当競技名
1	群馬県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ・サブアリーナ	前橋市	ボクシング、 バレーボール、体操、 バスケットボール、卓球、 バドミントン ウエイトリフティング、柔道、剣 道、空手道、なぎなた 弓道 テニス、ソフトテニス スケート アーチェリー
2	ぐんま武道館		
3	ぐんま武道館弓道場		
4	テニスコート		
5	アイスアリーナ		
6	アーチェリー場		
7	群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク	渋川市	スケート、アイスホッケー
8	群馬県ライフル射撃場	榛東村	ライフル射撃
9	群馬県立敷島公園	前橋市	陸上競技、サッカー 野球 水泳 サッカー、ラグビー
10	陸上競技場		
11	野球場		
12	水泳場		
13	サッカー・ラグビー場		
13	群馬県クレ射撃場	安中市	クレ射撃
14	群馬県馬事公苑	前橋市	馬術
15	群馬県立ゆうあいピック 記念温水プール	渋川市	水泳
16	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	伊勢崎市	陸上競技、水泳、卓球、 アーチェリー

2 市町村有等施設 (39 施設)

NO	施設名	所在市町村	該当競技名
1	前橋総合運動公園	前橋市	サッカー 野球 テニス 体操、ウエイトリフティング、卓 球 自転車(トラック) サッカー
2	陸上競技場		
3	野球場		
4	テニスコート		
5	前橋市民体育館		
6	グリーンドーム前橋 下増田運動場(前橋フットボールセ ンター)		

7	高崎アリーナ 高崎市浜川運動公園	高崎市	体操
8	高崎市浜川体育館		バスケットボール、卓球
9	高崎市浜川競技場		ラグビー
10	高崎市浜川プール		水泳
11	高崎市ソフトボール場		ソフトボール
12	高崎市城南野球場		野球
13	高崎市上並榎庭球場		ソフトテニス
14	清水善造メモリアルテニスコート		テニス
15	桐生市運動公園	桐生市	野球
16	桐生球場		相撲
17	桐生市民体育館		バスケットボール
18	桐生スケートセンター		スケート
19	伊勢崎市華蔵寺公園	伊勢崎市	バレーボール、バドミントン
20	伊勢崎市民体育館・第二市民体育館		ソフトボール
21	伊勢崎市ソフトボール場		野球
22	伊勢崎市あずまサッカースタジアム		サッカー
23	太田市運動公園	太田市	バドミントン、バスケットボール
24	市民体育館		ラグビー
25	陸上競技場		野球
26	野球場		サッカー
27	サッカー・ラグビー場		柔道
28	武道館		
28	沼田市民体育館	沼田市	フェンシング
29	館林市城沼総合体育館	館林市	レスリング
30	館林市城沼		ボート
31	藤岡市民球場	藤岡市	野球
32	富岡市北部運動公園市民体育館	富岡市	ハンドボール
33	安中市スポーツセンター総合体育館	安中市	ボクシング
34	尾瀬ほたか高原スポーツパーククロス	片品村	スキー（クロスカントリー）
35	スカントリーコース 片品シャンツェ		スキー（ジャンプ）
36	みなかみ町月夜野緑地施設内運動広場	みなかみ町	ホッケー
37	みなかみ町矢瀬親水公園上流		カヌー（スラローム、ワイルドウォーター）
38	玉村町社会体育館	玉村町	銃剣道
39	渡良瀬遊水地	板倉町	セーリング、カヌー（スプリント）

(3) 民間施設 (6施設)

NO	施設名	所在市町村	該当競技名
1	ニューサンピアアイスアリーナ	高崎市	アイスホッケー
2	尾瀬岩鞍アルペンコース	片品村	スキー (アルペン)
3	群馬サイクルスポーツセンター	みなかみ町	自転車 (ロード)
4	クライミングジム・ウォールストリート	前橋市	山岳 (ボルダリング)
5	群馬ジャイアント射撃場	富岡市	クレール射撃
6	パークレーン高崎	高崎市	ボウリング

<関連資料-2> 競技別拠点スポーツ施設の選定理由及び大会開催実績

1 スケート

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター 伊香保リンク 【県有】	<ul style="list-style-type: none"> ○スピード・ショートトラック等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○日本スケート連盟公認400mリンクは県内唯一。 ○県スケート連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体、昭和63年伊香保国体、平成6年上州国体、平成15年群馬国体、平成19年ファイト群馬国体のスケート会場、平成27年2015ぐんま冬国体スケート会場としての実績。
県総合スポーツセンター アイスアリーナ 【県有】	<ul style="list-style-type: none"> ○フィギュア、ショートトラックの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県スケート連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和63年伊香保国体、平成6年上州国体、平成15年群馬国体、平成19年ファイト群馬国体のスケート会場、平成27年2015ぐんま冬国体フィギュアスケート会場としての実績。
桐生スケートセンター 【市有】	<ul style="list-style-type: none"> ○東毛で唯一のスケート場。 ○県スケート連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○特にショートトラックの活動拠点。

2 アイスホッケー

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター 伊香保リンク 【県有】	<ul style="list-style-type: none"> ○アイスホッケーの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県スケート連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体、昭和63年伊香保国体、平成6年上州国体、平成15年群馬国体、平成19年ファイト群馬国体、平成27年2015ぐんま冬国体、平成29年冬季関東ブロック大会のアイスホッケー会場としての実績。
ニューサンピア アイスアリーナ 【民間】	<ul style="list-style-type: none"> ○アイスホッケーの大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県スケート連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成15年群馬国体、平成19年ファイト群馬国体、平成27年2015ぐんま冬国体のアイスホッケー会場としての実績。

3 スキー

施設名	選定理由・大会開催実績
尾瀬ほたか高原スポーツ パーククロスカントリー コース 【村有】	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年全国中学校スキー大会、平成27年2015ぐんま冬国体のクロスカントリー競技専用のコースとして利用された拠点スポーツ施設。
尾瀬岩鞍アルペンコース 【民間】	<ul style="list-style-type: none"> ○国体アルペン競技専用のコースとして利用されている拠点スポーツ施設。 ○県スキー連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和60年片品国体、平成18年尾瀬国体、平成27年2015ぐんま冬国体のアルペン会場としての実績。

施設名	選定理由・大会開催実績
片品ジャンツェ 【村有】	○ジャンプの大規模大会を開催できる県内唯一の拠点スポーツ施設。 ○県スキー連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和60年片品国体、平成18年尾瀬国体、平成27年2015ぐんま冬国体のジャンプ会場としての実績。

4 陸上競技

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県立敷島公園 陸上競技場 【県有】	○県内で唯一の日本陸連公認第1種の施設であり、大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○群馬陸上競技協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体の陸上競技会場としての実績。
群馬県立ふれあいスポーツプラザ 【県有】	○全天候ウレタン舗装400mトラックを有する施設として、障害者スポーツの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○陸上競技（障害者）の競技力向上のための活動拠点。 ○毎年実施されている群馬県障害者スポーツ大会、平成8年・9年関東身体障害者陸上選手権大会の陸上競技会場としての実績。

5 水泳

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県立敷島公園 水泳場 【県有】	○大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○日本水泳連盟公認の50m温水プールは県内唯一。 ○飛び込み、水球及びシンクロ競技にも対応できる施設。 ○県水泳連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体（競泳）、平成13・22・29年国体関東ブロック大会（水球・シンクロ）の会場としての実績。
群馬県立ゆうあいピック 記念温水プール 【県有】	○県の「人にやさしい福祉のまちづくり条例」の整備基準を満たしているプールは県内唯一。 ○水泳（障害者）の競技力向上のための活動拠点。 ○大会実績はないが、平成10年度から水泳記録会を実施しており、群馬身体障害者水泳協会等の所属選手が参加する選手育成及びリハビリテーションの拠点。
群馬県立ふれあいスポーツプラザ 【県有】	○観客席を有し、大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○水泳（障害者）の競技力向上のための活動拠点。 ○毎年実施されている群馬県障害者スポーツ大会、平成9年全国身体障害者水泳大会、平成22年関東身体障害者水泳大会の水泳会場としての実績。
高崎市浜川プール 【市有】	○競泳の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県水泳連盟の競技力向上のための活動拠点。

6 サッカー

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県立敷島公園 サッカー・ラグビー場 【県有】	○大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県サッカー協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 22・29 年国体関東ブロック大会のサッカー会場としての実績。
群馬県立敷島公園 陸上競技場 【県有】	○ザスパ草津のホームグラウンド。 ○県サッカー協会の競技力向上のための活動拠点。 ○Jリーグ、天皇杯の会場としての実績。
前橋総合運動公園 陸上競技場 【市有】	○大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県サッカー協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 29 年国体関東ブロック大会のサッカー会場としての実績。
前橋市下増田運動場 (前橋フットボールセンター) 【市有】	○大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○天候に左右されない人工芝グラウンド。 ○平成 29 年国体関東ブロック大会のサッカー会場としての実績。
伊勢崎市あずま サッカースタジアム 【市有】	○大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○天候に左右されない人工芝グラウンド。 ○県サッカー協会の競技力向上のための活動拠点。
太田市運動公園 サッカー・ラグビー場 【市有】	○大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○天候に左右されない人工芝グラウンド。 ○県サッカー協会の競技力向上のための活動拠点。

7 テニス

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター テニスコート 【県有】	○県内最大規模の砂入り人工芝 16 面を有する施設として、テニスの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県テニス協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 13・22・29 年国体関東ブロック大会テニス会場としての実績。
前橋総合運動公園 テニスコート 【市有】	○県内最大規模の 16 面を有する施設として、テニスの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県テニス協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体のテニス会場としての実績。
清水善造メモリアル テニスコート 【市有】	○県内最大規模の 21 面のセミハードコート有する施設として、テニスの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県テニス協会の競技力向上のための活動拠点。

8 ソフトテニス

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター テニスコート 【県有】	<ul style="list-style-type: none"> ○県内最大規模の砂入り人工芝 16 面を有する施設として、ソフトテニスの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ソフトテニス協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 22・29 年国体関東ブロック大会のソフトテニス会場としての実績。
高崎市上並榎 庭球場 【市有】	<ul style="list-style-type: none"> ○県内最大規模の砂入り人工芝 16 面を有する施設として、ソフトテニスの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ソフトテニス連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体のソフトテニス会場としての実績。

9 ボート

施設名	選定理由・大会開催実績
館林市城沼 【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ○ボートの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。直線千メートルの基準を満たす。 ○県ボート協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 13・22・29 年国体関東ブロック大会のボート会場としての実績。

10 ホッケー

施設名	選定理由・大会開催実績
みなかみ町月夜野 緑地施設内運動広場 【町有】	<ul style="list-style-type: none"> ○県内で唯一の人工芝ホッケー場。常設の施設として大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ホッケー協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体、平成 13・22・29 年国体関東ブロック大会のホッケー会場としての実績。

11 ボクシング

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター サブアリーナ 【県有】	<ul style="list-style-type: none"> ○県内で唯一のボクシングの常設施設として大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ボクシング連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 13・22 年国体関東ブロック大会のボクシング会場としての実績。
安中市スポーツセンター 総合体育館 【市有】	<ul style="list-style-type: none"> ○ボクシングの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ボクシング連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○ボクシング会場としての実績はないが、昭和 58 年のあかぎ国体時には、安中市でボクシング競技を行った実績あり。

12 バレーボール

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ・サブアリーナ 【県有】	○県内で最大規模の体育館として、バレーボール等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バレーボール協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 13・29 年国体関東ブロック大会のバレーボール会場としての実績。
伊勢崎市民体育館・第二市民体育館 【市有】	○バレーボール等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バレーボール協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体、平成 22 年国体関東ブロック大会のバレーボール会場としての実績。

13 体操

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ 【県有】	○県内で最大規模の体育館であり、競技用器具も充実しており、体操の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県体操協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 13・22・29 年国体関東ブロック大会の体操会場としての実績。
前橋市民体育館 【市有】	○競技用器具も充実しており、体操の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県体操協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体の体操会場としての実績。
高崎アリーナ 【市有】	○県内で最大規模の体育館であり、競技用器具も充実しており、体操の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県体操協会の競技力向上のための活動拠点。 ○全日本体操選手権の会場としての実績。

14 バスケットボール

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ 【県有】	○県内で最大規模の体育館として、バスケットボール等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バスケットボール協会の競技力向上のための活動拠点。
高崎市浜川体育館 【市有】	○バスケットボール等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バスケットボール協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体、平成 13・22 年国体関東ブロック大会のバスケットボール会場としての実績。
桐生市民体育館 【市有】	○バスケットボール等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バスケットボール協会の競技力向上のための活動拠点。
太田市運動公園 市民体育館 【市有】	○東毛地区における最大規模の体育館として、バスケットボール等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バスケットボール協会の競技力向上のための活動拠点。

15 レスリング

施設名	選定理由・大会開催実績
館林市城沼総合体育館 【市有】	○県内で唯一のレスリングの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県レスリング協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体のレスリング会場としての実績。

16 セーリング

施設名	選定理由・大会開催実績
渡良瀬遊水地 【その他】	○県内で唯一の活動場所。（艇庫栃木県） ○県セーリング連盟の競技力向上のための活動拠点。

17 ウエイトリフティング

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんま武道館 【県有】	○県内で最大規模の武道館であり、ウエイトリフティング競技を開催できるよう、床を補強してある拠点スポーツ施設。 ○県ウエイトリフティング協会の競技力向上のための活動拠点。
前橋市民体育館 【市有】	○ウエイトリフティングの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ウエイトリフティング協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 29 年国体関東ブロック大会のウエイトリフティング会場としての実績。

18 ハンドボール

施設名	選定理由・大会開催実績
富岡市北部運動公園市民体育館 【市有】	○ハンドボールの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ハンドボール協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体、平成 13・22・29 年国体関東ブロック大会のハンドボール会場としての実績。

19 自転車

施設名	選定理由・大会開催実績
グリーンドーム前橋 【市有】	○県内で唯一の自転車競技（トラック）専用の施設として大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県自転車競技連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体時には旧前橋競輪場使用。
群馬サイクル スポーツセンター 【民間】	○県内で唯一のロードの大会が開催できる拠点スポーツ施設。 ○県自転車競技連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○高校の関東大会でロード会場としての実績。

20 卓球

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ 【県有】	○県内で最大規模の体育館として、卓球等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県卓球協会の競技力向上のための活動拠点。
群馬県立ふれあいスポーツプラザ 【県有】	○卓球等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。（サウンドテーブルテニス室（視覚障害者用）も有している） ○卓球（障害者）の競技力向上のための活動拠点。 ○毎年実施されている群馬県障害者スポーツ大会の卓球会場としての実績。（平成6年ゆうあいピック群馬大会のバレーボール会場としての実績もあり）
前橋市民体育館 【市有】	○卓球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県卓球協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成13・29年国体関東ブロック大会の卓球会場としての実績。
高崎市浜川体育館 【市有】	○卓球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県卓球協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成22年国体関東ブロック大会の卓球会場としての実績。

21 野球

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県立敷島公園 野球場 【県有】	○県内唯一のプロ野球一軍公式戦を行える球場であり、野球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県野球連盟、県社会人野球連盟、県高等学校野球連盟（以下、県高野連）の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体、平成22・29年国体関東ブロック大会の軟式野球会場としての実績。
前橋総合運動公園 市民球場 【市有】	○野球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県野球連盟、県高野連の競技力向上のための活動拠点。 ○平成22年国体関東ブロック大会の軟式野球会場としての実績。
高崎市城南野球場 【市有】	○野球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県野球連盟、県高野連の競技力向上のための活動拠点。 ○平成29年国体関東ブロック大会の軟式野球会場としての実績。
桐生球場 【市有】	○野球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県野球連盟、県高野連の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体の高校野球、平成13年国体関東ブロック大会の軟式野球会場としての実績。
太田市運動公園野球場 【市有】	○野球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県野球連盟、県社会人野球連盟の競技力向上のための活動拠点。
伊勢崎市野球場 【市有】	○野球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○群馬ダイヤモンドペガサスの拠点スポーツ施設。 ○県野球連盟、県社会人野球連盟の競技力向上のための活動拠点。
藤岡市民球場 【市有】	○野球の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○群馬ダイヤモンドペガサスの拠点スポーツ施設。 ○県野球連盟、県社会人野球連盟の競技力向上のための活動拠点。

22 相撲

施設名	選定理由・大会開催実績
桐生相撲道場 【市有】	○相撲の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県相撲連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成18年高校関東大会の相撲会場としての実績。

23 馬術

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県馬事公苑 【県有】	○県内唯一の馬術専用の施設として大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県馬術連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体、平成13・22・29年国体関東ブロック大会の馬術会場としての実績。

24 フェンシング

施設名	選定理由・大会開催実績
沼田市民体育館 【市有】	○フェンシングの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県フェンシング協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体の剣道会場としての実績。

25 柔道

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんま武道館 【県有】	○武道関連の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県柔道連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成13・22・29年国体関東ブロック大会の柔道会場としての実績。
太田市運動公園武道館 【市有】	○ぐんま武道館に次ぐ、大規模大会を開催できる東毛の拠点スポーツ施設。 ○県柔道連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○県中学校体育連盟（以下、「中体連」という。）等の大会会場としての実績。

26 ソフトボール

施設名	選定理由・大会開催実績
高崎市ソフトボール場 【市有】	○スタンドの付いたソフトボール専用の球場であり、大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ソフトボール協会の競技力向上のための活動拠点。 ○国際女子ソフトボール大会、日本女子ソフトボール大会開催としての実績。
伊勢崎市ソフトボール場 【市有】	○スタンドの付いたソフトボール専用の球場であり、大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ソフトボール協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体、平成22年国体関東ブロック大会のソフトボール会場としての実績。

27 バドミントン

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ 【県有】	○県内で最大規模の体育館として、バドミントン等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バドミントン協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成13年国体関東ブロック大会のバドミントン会場としての実績
太田市運動公園 市民体育館 【市有】	○バドミントンの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バドミントン協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成22・29年国体関東ブロック大会のバドミントン会場としての実績
伊勢崎市民体育館 【市有】	○バドミントン等の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県バドミントン協会の競技力向上のための活動拠点。

28 弓道

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんま武道館弓道場 【県有】	○県内最大規模の弓道場であり、大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県弓道連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成22・29年国体関東ブロック大会の弓道会場としての実績。

29 ライフル射撃

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県ライフル射撃場 【県有】	○県内唯一のライフル射撃場であり、大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ライフル射撃協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体、平成13・22・29年国体関東ブロック大会のライフル射撃会場としての実績。

30 剣道

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんま武道館 【県有】	○武道関連の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県剣道連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成22・29年国体関東ブロック大会の剣道会場としての実績。

31 ラグビー

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県立敷島公園 サッカー・ラグビー場 【県有】	○ラグビー等の大規模大会を専用で開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ラグビーフットボール協会の競技力向上のための活動拠点。
高崎市浜川競技場 【市有】	○ラグビーの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ラグビーフットボール協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和58年あかぎ国体のラグビー会場としての実績。
太田市運動公園 陸上競技場 【市有】	○ラグビーの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○パナソニックワイルドナイツの試合会場としての実績。 ○県ラグビーフットボール協会の競技力向上のための活動拠点。

32 山岳

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター サブアリーナ 【県有】	○リードを2コース設置してあり、リードを実施できる拠点施設。 ○平成29年国体関東ブロック大会のリード会場としての実績。
クライミングジム・ ウォールストリート 【民間】	○ボルダリングを実施できる拠点施設。 ○県山岳連盟のボルダリングの活動拠点。

33 カヌー

施設名	選定理由・大会開催実績
渡良瀬遊水地 【その他】	○県内唯一のカヌー（スプリント）の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県カヌー協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成13・29年国体関東ブロック大会のカヌー会場としての実績。
みなかみ町 矢瀬親水公園上流 【その他】	○県内唯一のカヌー（スラローム・ワイルドウォーター）の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県カヌー協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成13・22年国体関東ブロック大会のカヌー会場としての実績。

34 アーチェリー

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター アーチェリー場 【県有】	○整備によりアーチェリーの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県アーチェリー協会の競技力向上のための活動拠点。
群馬県立ふれあいスポーツ プラザ 【県有】	○アーチェリーの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○アーチェリー（障害者）の競技力向上のための活動拠点。 ○毎年実施されている群馬県障害者スポーツ大会、平成8年関東大会、平成12・29年全国大会のアーチェリー会場としての実績。

35 空手道

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんま武道館 【県有】	○武道関連の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県空手道連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 22・29 年国体関東ブロック大会の空手道会場としての実績。

36 銃剣道

施設名	選定理由・大会開催実績
玉村町社会体育館 【町有】	○銃剣道の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県銃剣道連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体、平成 22・29 年国体関東ブロック大会の銃剣道会場としての実績。

37 クレー射撃

施設名	選定理由・大会開催実績
群馬県クレー射撃場 【県有】	○県内で唯一の公共射撃場として、クレー射撃の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県クレー射撃協会の競技力向上のための活動拠点。 ○昭和 58 年あかぎ国体のクレー射撃会場としての実績。
群馬ジャイアント射撃場 【民間】	○民間射撃場として、クレー射撃の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県クレー射撃協会の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 13・22・29 年国体関東ブロック大会のクレー射撃会場としての実績。

38 なぎなた

施設名	選定理由・大会開催実績
県総合スポーツセンター ぐんま武道館 【県有】	○武道関連の大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県なぎなた連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 22・29 年国体関東ブロック大会のなぎなた会場としての実績。

39 ボウリング

施設名	選定理由・大会開催実績
パークレーン高崎 【民間】	○ボウリングの大規模大会を開催できる拠点スポーツ施設。 ○県ボウリング連盟の競技力向上のための活動拠点。 ○平成 13・22・29 年国体関東ブロック大会のボウリング会場としての実績。

40 ゴルフ

施設名	選定理由・大会開催実績
—	○主要な活動拠点が特定できないため、選定しない。